

第5号

平成23年5月23日発行
編集局 JA山口中央会



集落営農法人だより

山口県集落営農法人連携協議会 平成23年度通常総会を開催

山口県集落営農法人連携協議会の平成23年度通常総会を4月25日(月)午前11時から県JAビル講堂において、66会員(うち委任状18会員)の出席を得て開催しました。

総会では、田中豊策会長が23年度の活動強化に向けた開会挨拶の後、顧問である山口県農林総合技術センター 堀信雄所長より来賓祝辞があり、来賓(県、JA山口中央会、JA全農やまぐち、県農業会議)紹介の後、田中会長を議長として議事に入り、5つの議案を全て承認しました。

①第1号議案 平成22年度事業報告および収支決算について、②第2号議案 平成23年度事業計画および収支予算について、③第3号議案 平成23年度会費について、④第4号議案 規約の改正、⑤第5号議案 役員の変更

第4号議案の役員候補については、「JA管内の担い手組織協議会から推薦があった法人より選出する」に改正されました。

なお、増額された県補助金を踏まえ、明確な積算根拠の提示、会員名簿の配布について意見・要望に加え、田中会長からは昨年の豪雨災害の義援金に対する謝辞がありました。総会終了後役員会が開催され互選により、以下のとおり新役員が決定しました。

- | | | |
|---------------------------|----------------------------|-----------------|
| 会長 田中豊策 (農) 植柳ファーム | 副会長 山本勉生 (農) うもれ木の郷 | |
| 幹事 榎本正男 (農) あいさいの里 | 倉益 勲 (有) 鹿野アグリ | 藤田文雄 (農) 上り熊 |
| 秋本清夫 (有) 名田島農産 | 齊藤宏爾 (農) 石束・不動寺原 | 浅野東雄 (農) 久野ファーム |
| 金子 博 (農) 河原 | | |
| 監事 平岡邦夫 (農) 虹の里 | | |

協議会活動の実践の年！！

平成23年3月末時点 法人協議会加入法人一覧 72法人

管轄JA	法人名
JA山口東	(農)虹の里
JA山口東	(農)むかたお
JA山口東	(農)いきいきファーム美和
JA山口東	(農)グリーンファーム府谷
JA南すおう	(農)おおさこ
JA南すおう	(農)ウエスト・いかち
JA南すおう	(農)長野みのり
JA南すおう	(農)あいさいの里
JA南すおう	(農)伊陸美味
JA南すおう	(農)佐田
JA南すおう	(農)小行司
JA南すおう	(農)つかり
JA周南	(農)下郷農業構造改善組合
JA周南	(有)鹿野アグリ
JA防府とくち	(農)切畑ファーム
JA防府とくち	(農)上り熊
JA防府とくち	(農)船路れんげの里
JA山口中央	(農)宇津木農産
JA山口中央	(株)仁保農産
JA山口中央	(有)佐山ファーム
JA山口中央	(農)片山
JA山口中央	(有)名田島農産
JA山口中央	(農)川西
JA山口中央	(農)西開作

管轄JA	法人名
JA山口宇部	(農)あいのう木田
JA山口宇部	(農)宮尾営農組合
JA山口宇部	(有)アグリ楠
JA山口宇部	(農)石束・不動寺原
JA山口宇部	(農)七日町営農組合
JA下関	(農)久野ファーム
JA下関	(農)吉見ファーム
JA下関	(有)アグリ永田郷
JA下関	(農)せいりゅう
JA下関	(農)小野愛農組合
JA下関	(農)フェルメ高熊
JA下関	(合)こいなか
JA下関	(農)宇内薬師の里
JA下関	(農)吉田ファーム
JA山口美祢	(農)植柳ファーム
JA山口美祢	(農)三光
JA山口美祢	(農)深土
JA山口美祢	(農)植竹ファーム
JA山口美祢	(農)ファーム岩波
JA山口美祢	(農)やまだファーム
JA山口美祢	(農)鳳鳴
JA山口美祢	(農)宮の河内農業生産組合
JA山口美祢	(農)くせはら
JA山口美祢	(農)徳坂

管轄JA	法人名
JA山口美祢	(農)金焼
JA山口美祢	(農)睦の里河原
JA山口美祢	(農)第13営農組合
JA長門大津	(農)二条窪
JA長門大津	(農)アグリ中央
JA長門大津	(農)あけぼのの里
JA長門大津	(農)ファーム上ゲ
JA長門大津	(農)中小野の郷
JA長門大津	(農)三ヶ村
JA長門大津	(農)アグリサポート大津
JA長門大津	(農)かみおか
JA長門大津	(農)河原
JA長門大津	(農)泉川
JA長門大津	(農)ゆや中畑
JAあぶらんど萩	(農)うもれ木の郷
JAあぶらんど萩	(農)小国ファーム
JAあぶらんど萩	(農)木間の郷
JAあぶらんど萩	(農)こぶし
JAあぶらんど萩	(農)金谷営農生産組合
JAあぶらんど萩	(農)至福の里
JAあぶらんど萩	(農)あぶの郷
JAあぶらんど萩	(農)弥富5区
JAあぶらんど萩	(農)ファームさんみ
JAあぶらんど萩	(農)むつみ

山口県集落営農法人推進大会を開催

100 法人突破記念 ～みんなで語り 集落営農法人の輪を広げよう！～



山口県集落営農法人連携協議会は、4月25日県J Aビルにて、山口県集落営農法人推進大会～みんなで語り集落営農法人の輪を広げよう！～を開催し、県内の集落営農法人、特定農業団体、集落営農組織、県・市町関係機関、J Aグループ山口、農業大学校生、営農支援塾生など約400人が参加しました。

大会では基調報告、話題提供、パネルディスカッションなどを通じて、今後の集落法人の在り方を検討しました。

平成23年3月末には県内で116の集落営農法人が設立されておりますが、集落営農法人の連携の場である協議会への参画を呼びかけ、集落営農法人化への取組みを強化していくこと大会宣言で確認しました。

地域法人協議会ニュース 長門大津法人協議会

県内初JGAP取得法人



谷村 孝 代表理事(左から3番目)
槌田 誠 専務理事(左から2番目)

農事組合法人二条窪 辰垂米栽培者協議会

Certificate of Registration

MOODY INTERNATIONAL

JGAP 認証書

農事組合法人 二条窪

〒759-3803 山口県長門市三隅下 90-1

545ビル2階

〒759-3803 山口県長門市三隅下 208

注意：認定内容は、以下の内容で、農産物が

JGAPの規格認証を取得したことを証明致します。

JGAP 総合規格 2010

JGAP 農産物 第 2.1 章

認証品目：米（玄米）

認証 登録番号 MIC-S-350000001

2011年3月30日

(有効期限：2013年3月29日)

JGAP

坂井泰好

Moody International Certification Ltd.
401/11, Mikasaohji Bldg., 1-4-2 Mikasaohji, Minami-ku, Choshi, Tokyo 120-0012, JAPAN
moody@moody.com

「一集落一農場を目指して」からエコやまぐち50農産物、更に

《安全・安心なJGAPで品質保証へ》

長門市三隅を流れる二条窪川は、国道191号線と国道191号線三隅バイパスを縦断し、南から北に向け流れて本流の三隅川に注いでいます。二条窪集落は、この二条窪川に沿って細長く耕地が拓け、13戸の農家が農地を保有しています。現在、集落の整備必要水田の約90%は整備が完了していますが、ほとんどが小区画の水田で分散度も高く平均約9.6a程度になっています。

昭和58年に設立した二条窪営農組合を集落営農の出発点とし、平成14年度に「山口型担い手組織」の認定を受け、平成17年度から稲作作業の受委託・全作業の共同化、経理の一元化を実施してきました。

また、平成17年12月には、特定農業団体の認定を受け、更に、特定農業団体から法人化し、『集落型の特定農業法人』となっています。平成21年9月には、化学農薬・肥料50%以上削減栽培農産物「エコやまぐち農産物」の認証を受け、翌年より「長門大津みずほ穂垂米栽培者協議会」の会員として、J Aより指導を受け、化学肥料を一切使わない有機肥料果穂里を使った「穂垂米」の栽培を取り入れています。

平成22年7月から、新潟県の有限会社穂海 代表取締役 丸田 洋氏を初め関係機関の指導のもと「J G A P農場用 管理点と適合基準」の『農産物の安全、環境への配慮、生産者の安全と福祉、農場経営と販売管理』について3度にわたり、指導を受けました。

研修を重ねるにつれ、内容が濃くなり事務担当が苦勞することもありましたが、平成23年2月に、J G A P活動に取り組んでいる新潟県の有限会社穂海を初め、先進地での視察研修を通じ、今後、農業において安全・安心な農産物を生産することの重要性を学んできました。この度の東日本大震災においても、農産物の被害が多く取り上げられており、自助努力では防げない環境もありますが、我々に今出来ることを全力で取り組んでいきたいと考えています。法人設立までは「一集落一農場を目指して」をキャッチフレーズとして来ましたが、今後はJ G A P取得を新たな出発点として、『安全・安心な農産物の供給』を目標として、J G A P審査130項目を確認・実施していきます。